

学会世話人報告 第65回年次大会（岡山大学）プログラム概要

実験核物理領域運営委員：味村（阪大RCNP）、若狭（九大院理）
理論核物理領域運営委員：武藤（千葉工大）、宇都野（原子力機構）

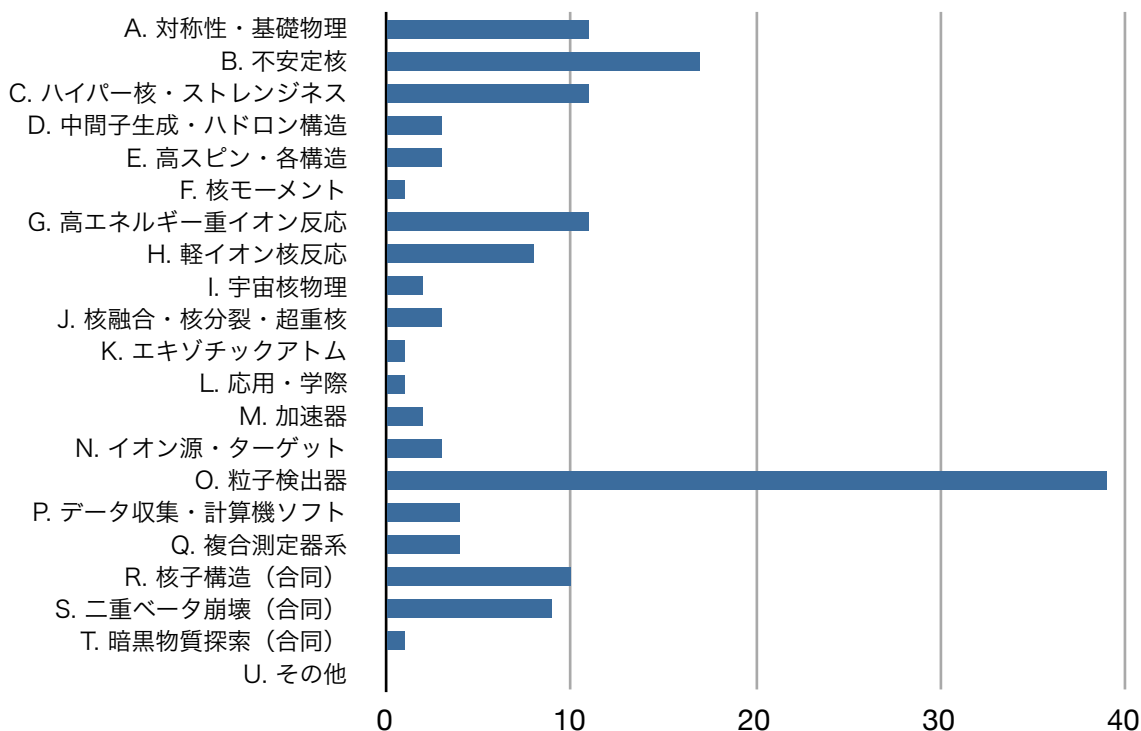
実験核物理領域一般申込

一般申込件数は143件（キーワード毎の件数は下図参照）。皆様の積極的な申込、ありがとうございます。次回以降、以下の点、よろしくご注意下さい。

❖キーワードは必ず指定して下さい（今回、未指定の申込が6件ありました）。

❖連続講演を希望される場合は、必ず連続講演申請書を提出下さい

（タイトルに連番が付随している場合などでも必ず提出下さい）。



招待講演

2件（Originalityがその人にあり、評価の高い仕事 (Invited talk)）

❖酒井英行（東大院理）「スピン・アイソスピン応答の実験的研究—今と近未来—」
実験核物理、理論核物理合同

❖Bruce R. Barrett（アリゾナ大）「The No Core Shell Model: Its Formulation, Applications and Extension to Heavier Mass Nuclei」
理論核物理、実験核物理合同

企画講演

2件（各分野の方向性を広い視野からまとめた講演 (Key note talk)）

- ❖中野健一（理研）「フェルミ研ドレル・ヤン実験で探る陽子中の反クオークの振る舞い」
実験核物理、理論核物理、素粒子論、素粒子実験合同
- ❖平野哲文（東大院理）「相対論的流体力学と高エネルギー重イオン衝突反応」
理論核物理、実験核物理合同

若手奨励賞受賞記念講演

7件（選考結果に関する2件の講演を含む）※理論核物理、実験核物理合同

- ❖下田正（阪大院理）「実験核物理領域若手奨励賞の選考結果について」
- ❖飯沼裕美（高エネ機構）「陽子陽子弾性散乱におけるシングルおよびダブル偏極非対称度の測定」
- ❖武内聡（理研仁科セ）「陽子非弾性散乱を用いた ^{32}Mg 核の低励起状態の研究」
- ❖大塚孝治（東大院理）「理論核物理領域若手奨励賞の選考結果について」
- ❖池田陽一（東大理/理研）「3体精密計算に基づくストレンジダイバリオン共鳴の研究」
- ❖吉田賢市（理研仁科セ）「Skyrme density-functional approach to excitation modes in deformed neutron-rich nuclei」
- ❖八田佳孝（筑波大数理物質科学）「高エネルギーQCD反応におけるダイポール散乱振幅の因子化の研究」（前年度受賞分の企画公演）

原子核談話会新人賞受賞記念講演（企画講演）

2件 ※実験核物理、理論核物理合同

- ❖郡司卓（東大CNS）「 J/ψ Production in High Energy Heavy Ion Collisions at RHIC」
- ❖深尾祥紀（理研）「Double helicity asymmetry for π^0 production in polarized p+p collisions at $\sqrt{s} = 200$ GeV」

シンポジウム

4件（実験核物理および理論核物理領域が主領域のものは各1件）

- ❖「速い中性子捕獲過程、元素組成第三ピーク周辺の核物理、宇宙物理」（8講演）
実験核物理・理論核物理合同
- ❖「高密度星の中のストレンジネス」
理論核物理、素粒子論、宇宙線・宇宙物理合同（9講演）
- ❖「J-PARCの現状と展望」
素粒子実験、素粒子論、理論核物理、実験核物理、ビーム物理領域合同
- ❖「測定器技術の革新でつながるサイエンスの横糸」
素粒子実験・実験核物理・ビーム物理、領域10、宇宙線・宇宙物理合同